



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年1月29日 No.570

2023春闘シリーズ④

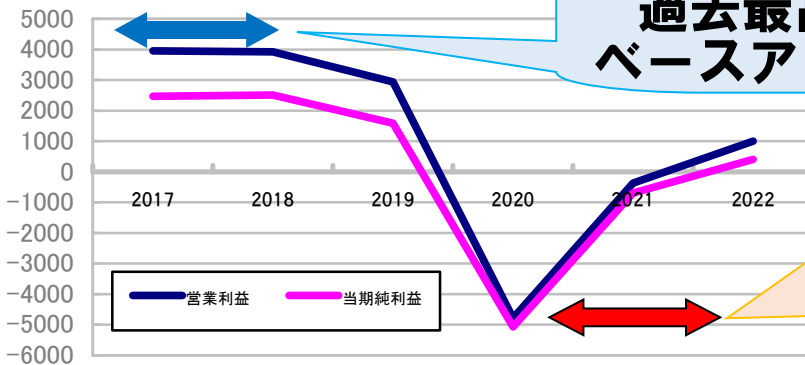


過去の春闘を振り返る

《この間のJR東日本における春闘回答》

年度	社員数	平均基本給	会社回答（定期昇給やベースアップ）	
2017	55,100	300,275 円	所定昇給額	社員の基本給に 1,000 円を加える。
2018	53,700	299,342 円	所定昇給額	基本給に 0.25% を乗じた額を加える。また初任給に 5,000 円を加える。
2019	51,800	297,268 円	所定昇給額	基本給の 1/6 の額及び主務職以上の社員に 100 円を加える。
2020	50,200	294,881 円	所定昇給額	基本給の 1/10 の額及び主幹職 B 以上、技術専任職及び S 等級以上に 200 円、主務職に 100 円を加える。
2021	48,900	290,676 円	定期昇給の実施 昇給係数は 2	0
2022	47,600	290,397 円	所定昇給額	0

この間の業績（営業利益）推移



**過去最高益の業績を更新するも
ベースアップは抑え込まれてきた！**

会社は赤字業績を背景に
初めて「定期昇給」を削る！
黒字化を担うも削られた社員は
生涯にわたり影響が残る！

「2係数を削られた」ことを忘れない！

2021 春闘で現行の人事・賃金制度下で初めて「昇給係数 2」が実施されました。

社員の月例賃金や退職金などに影響を及ぼし、生涯賃金を低下させただけでなく、社員間による賃金格差も生み出しています。今なお年齢による賃金カーブの格差を生み出しており、大きな課題として残されています。

所定昇給額の減額による影響

《30才、主任職の場合》

「所定昇給額」であった場合

昇給額 5,900 円×12 ヶ月×30 年＝212 万 4 千円

「昇給係数 2」減額の生涯賃金への影響

昇給額 3,000 円×12 ヶ月×30 年＝108 万円

退職するまで 104 万 4 千円 の減収になります。

超勤分や期末手当も加えるとさらに大きな差となります！

